

2022（令和4）年度
一般社団法人静岡県精神保健福祉士協会
定時社員総会 議案書

1. 開会

2. 会長挨拶

3. 議長選出

4. 書記、議事録署名人選出

5. 資格審査

6. 議 事

第1号議案 2021年度事業報告及び2021年度収支決算報告に関する件

報告事項1 2022年度事業計画及び収支予算に関する件

報告事項2 2021年度公益社団法人日本精神保健福祉士協会支部活動報告
及び2022年度支部活動予定

7. 議長解任

8. 連絡事項

9. 閉会

一般社団法人静岡県精神保健福祉士協会

議 事

【第1号議案】2021年度事業報告及び収支決算報告に関する件

一般社団法人静岡県精神保健福祉士協会 2021年度事業報告

(自：2021年4月1日 至：2022年3月31日)

定款第3条の目的を達成するため、定款第4条に基づき、次の事業に取り組んだ。

I 2021年度活動指針

1. 一般社団法人静岡県精神保健福祉士協会活動指針

- (1) 社会的責務を果たすことのできる人材育成を行い、会員の資質の向上を図る
- (2) 精神障害者の社会的復権をめざし、誰もが安心して暮らすことができる地域をつくる
- (3) 県民のこころの健康の増進を図る

2. 2021年度 重点課題と振り返り

(1) 人材育成

①人材育成の中核機能である研修体制について、より効果的、効率的に実施できる体制を再構築する。

- 研修企画運営体制の再検討を図り、研修を実行する
- 実態把握のためのアンケートを実施する
- オンラインで開催できるよう環境整備を図る
(振り返り)
 - ・新型コロナウイルス感染症の影響を受け、参集での研修は実施できなかった。
 - ・研修運営体制全体の再検討が必要。現在、再構築には至らず、理事会での検討を継続している。
 - ・WEBでの研修は実施しながら課題を抽出している。
 - ・WEBの活用等新たな研修提供に追われ、研修企画運営体制について再検討するに至らなかった
 - ・配信研修においてアンケートを実施したが、実態把握を検討可能な回答数は得られなかった。
 - ・オンライン研修に必要な備品の確保や配信可能な会場確認等を行い、環境整備を図った。
 - ・オンラインで各種研修を実施した。
 - ・2年目となった配信研修は視聴数が増えず、今後の実施方法等について再検討が必要。
 - ・昨年度と比較しWEBの活用は進んだが、対面ではないため、初任者のつながりが希薄な状態が継続している。
 - ・理念や価値を共有する機会として研修を実施することができた。

(2) 政策提言

①分野ごとのワーキンググループを設置し、県及び政令市等に対し適時適切に施策提言を行う。

- ブロック活動からの意見集約
- ワーキンググループの実施
- ピアサポーターの養成に関すること
(振り返り)
 - ・ブロックでの活動やワーキングの活動を通してコロナ禍における実態把握を行った。
 - ・権利擁護についても、コロナ禍における実態を把握し課題を抽出した。今後活動を通して政策提言につなげていく方向の確認を行った。
 - ・各WGやブロック活動から政策提言に繋がる課題を整理することができたが、コロナ禍により活動自体が制約を受けたことも影響し具体的な政策提言には至らなかった。

- ・ワーキング等の活動を通して人材育成、協会運営の裾野を広げていくことを目指したが十分な成果が得られるまでには至らなかった。
- ・ピアサポーターの養成に関することについては、次年度協会として取り組む方向性を県の地域移行定着部会において表明、今後のピアサポーター養成についての提言を行った。

②日本精神保健福祉士協会から要請のあるソーシャルアクションに積極的に協力する。

(振り返り)

- ・新生存権裁判の傍聴を継続した。裁判の傍聴を通して、静岡市以外での活動についての協力依頼があるなど、新たな展開や広がりにつながった。
- ・日本精神保健福祉士協会よりコロナ禍における実態把握の依頼があり、各ワーキングやブロックで共有、権利侵害に繋がる恐れのある実態把握を行った。

(3) 組織体制の強化

①「研鑽」「ネットワーク」「意見集約」を目的としたブロック活動に対し、ブロック協力員の役割の明確化を図り、各ブロックが地域性を活かしながら、効果的に機能するよう推進する。

●ブロック研修や地区での研修を実施する

●ブロック内での様々な課題への意見集約を行う

(振り返り)

- ・東 部：会議・研修ともにオンラインで実施。昨年度に比べ、企画側・参加者側共に慣れてきている。事業ごとにブロック協力員の担当を分けて企画実施してきた。オンラインの効果か、これまで協会活動への参加が少なかった会員の参加も増えている。今後もオンラインでの研修等を重ねる中でノウハウの蓄積が必要。
- ・静 岡：新型コロナウイルス感染症の影響により、活動はオンライン中心で実施した。(企画会議5回、勉強会3回。うち対面での開催は1回) ブロックの情報共有のツールとしてメーリングリストを活用しているが登録者は一部のみに残っている。活動への参加者は経験年数5年未満が多い。参加した新人からは参加できてよかった、との感想が聞かれている。
- ・志太榛原：オンラインで研修等を実施した(全4回)。配信研修を活用し、講師との意見交換等を実施することで新たな繋がりづくりの機会となった。対面での実施ができなかったため、新人が他の会員と繋がる機会を作ることができていない。今後全県にてオンラインで繋がる機会を作っていく。
- ・中東遠：しゃべくり中東遠を継続実施。ブロック協力員の協力を得ながら実施した。ブロック活動を通して社会福祉協議会等、他機関との繋がりを作る機会を持つこともできた。オンライン開催による参加のしにくさを感じている会員がいる可能性もあり、内容・実施方法を含め継続して検討していく。
- ・浜 松：新入会の顔つなぎができる場をWEBで実施した。ブロック協力員のメーリングリストを活用して周知を図ったが参加者の所属先が限られており、周知方法に課題が残った。

②法人運営の安定化を図るため、事務局機能の強化及び収支バランスの適正化を目指す。

●規約整備を行う

●事業受託できる体制の整備を行う

(振り返り)

- ・オンライン研修に係る規定は整備した。他の規約については今後整理していく。
- ・法人運営の安定化を図るため、事務局の人員体制やハード面等の強化が必要。
- ・今年度県より研修事業を受託した。事業受託をしたことにより課題が明確となったが、体制整備までには至らなかった。
- ・体制整備のため、事務局体制と事業執行体制の整備及び強化が必要。

③日本精神保健福祉士協会との連携を一層強化し、2024年日本協会と県協会の入会を一本化とする。

●県協会のみの方員への呼びかけ（案内の送付等）

（振り返り）

・つうしんで継続的な呼びかけを行った。

・入会数の減少と退会者の増加が顕著であり、入会の促進と退会を減らす取り組みについて検討が必要。

④情報発信

●つうしん、ホームページ等で情報発信を行い、当協会への理解促進及び方員への情報提供等の充実を目指す

●方員と一緒にできる情報発信を検討する（リレーエッセイ等）

●メール一斉配信システムの検討やホームページの管理について検討し、できることを実行する（振り返り）

・ホームページ等の媒体を活用したが、方員に浸透するまでには至らなかった。

・今後は WEB 上での情報発信がメインとなることが想定される。安定的な運用と費用の両面で、再検討が必要。

・リレーエッセイ等、方員と一緒にできる情報発信については実施できなかった。

・メール配信システムを導入、運用を開始した。

・ホームページの管理を簡易にするための検討を行い、次年度導入予定。

II 事業報告

1. 定時方員総会

方員数 461 名のうち出席者 32 名、委任状 226 名の合計 258 名で総会成立

（新型コロナウイルス感染拡大防止のため、規模を縮小しての開催）

日程	2021 年 5 月 30 日（日）	場所	グランシップ
内容	2020 年度事業報告及び収支決算報告に関する件 2021 年度及び 2022 年度役員選任に関する件 2021 年度事業計画及び収支予算に関する件 2020 年度公益社団法人日本精神保健福祉士協会支部活動報告及び 2021 年度活動予定		
議事内容	<p>【第 1 号議案】 2020 年度事業報告及び収支決算報告に関する件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業報告については菅原副会長より報告。 ・収支決算報告については山口事務局長より報告。 ・決算について以下の質疑、意見あり回答。 <p>【質疑】 年会費の未収金の金額が多かったことについて</p> <p>【回答】 例年は年度途中で会費の督促を行っていたが、昨年度は督促の作業を行うことができなかったことで未収金が増えたと考えている。対策として、今年度は早めに督促作業を行っていきたい。</p> <p>【意見】 財務諸表の項目が個人的にはとてもわかりやすいと感じた。ただ、馴染みがない方員が多く理解することが難しい方員も多いのではないかと思う。配信研修などでわかりやすく解説することなども考えてみてはどうか？</p> <p>【回答】 検討する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三谷監事より会計監査報告。収支決算は問題なかった旨の報告と、以下の意見等あり。 <p>【監事意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度はコロナ対策に追われ思った通りの事業実施が困難だったが、慣れない中での配信 		

	<p>研修等、事業実施の努力があった</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度は一方的に配信するだけでなく、会員の反応が見られるような方法の検討をお願いしたい。相互のやり取りのある研修が必要ではないか。 ・コロナ禍は続くと思われるので、対面の研修と WEB の研修の使い分けを検討してもらいたい。 ・一般社団法人化しての変化を監査の際に改めて実感した。社会的に認知され、協会の名を背負い責任を負っていることを理事や会員が意識する必要がある。社会的な活動をしていく中では必要な意識だと思う。会員の協力なくしてはできない。 ・監査報告、質疑応答後採決。賛成多数により可決。 <p>【第2号議案】2021年度及び2022年度役員選任に関する件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提案趣旨について川嶋副会長より説明。 ・役員候補者15名（理事13名、監事2名）について久野選挙管理委員長より報告。 ・質疑等なし、賛成多数により可決。 <p>【報告事項1】2021年度事業計画及び収支予算に関する件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業計画については澤野会長より報告、質疑等なし。 ・収支予算については前林副会長より報告、質疑等なし。 <p>【報告事項2】2020年度公益社団法人日本精神保健福祉士協会支部活動報告及び2021年度支部活動予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・望月理事より、支部総会で詳細を報告する旨の話あり
--	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2. 理事会、委員会

(1) 通常理事会4回、臨時理事会1回、理事の会合2回、三役会10回

WEBを活用しての開催及び参集、ハイブリッド等感染症拡大状況に合わせて実施した。

理事会	入退会に関する件、予算執行に関する件、業務執行に関する件 他
臨時理事会	新三役体制に関する件
理事の会合	会員の状況確認、発送物の確認と検討、日本協会関係の確認・必要事項の検討 研修関連の確認・検討、後援・派遣の確認と検討、ブロック活動の確認 県内の状況確認・情報共有と協会としての課題・取り組みの検討 他
三役会議	理事会での協議事項検討、協会運営方針の検討 他

(2) 臨時災害対策会議

熱海市で発生した土石流災害を受け、臨時で会議を招集、開催した。

日時	会場	参加者	内容
7月6日	WEB	8名（理事）	状況確認と情報共有、災害対策本部立ち上げについての検討
7月20日	WEB	9名（理事）	県から現地派遣の要請を受け依頼内容の確認と体制の検討 災害対策本部の立ち上げ

(3) 事務局会議

開催頻度	月1回（毎月開催）	会場	事務局（シズウエル）
参加者	山口雅弘（事務局長）、野村歩美（事務局員）、原田まゆみ（事務局員）		

(4) 部・委員会・ワーキング（一部再掲）

部・委員会		活動内容
事務局	総務	会員管理、会計業務、委託事業に係る事務処理

(理事会)	広報	つうしん	「(一社) 静岡 PSW つうしん」編集及び発行 (4 回) 紙媒体以外での発行についての検討
		ホームページ等	ホームページ及び Facebook の管理と情報更新、外部業者との折衝等、会員への情報発信体制の検討
		PSW 研究	機関誌「静岡 PSW 研究」編集作業、発刊準備 今後のあり方についての検討
災害対策	会議の開催 (2 回/WEB)、熱海市における災害対応 (災害対策会議への参加、現地派遣等) 支部災害対策計画の策定・見直し、日本精神保健福祉士協会主催会議等への参加、静岡 DPAT、静岡 DWAT との情報交換、災害支援に関する報告 (実践研究学会、冬季研修会)		
Web 環境整備	一斉メール配信システムの導入、管理 配信研修、オンライン研修等にかかわる機材及び環境整備		
人材育成部	研修プロジェクト	研修実施体制の検討 (理事の会合で検討) 配信研修及びオンライン研修の企画実施	
	S V 委員会	会議の開催 (1 回/WEB)、現状・課題の把握と体制整備のための検討	
地域体制整備部	相談ワーキング	<ul style="list-style-type: none"> ・会議の開催 (5 回/WEB) ・相談支援専門員対象交流会の開催 (2 回/WEB) ・相談支援体制の課題抽出と検討 ・アンケート調査の実施 (コロナ禍における影響について) 	
	医療ワーキング	<ul style="list-style-type: none"> ・会議の開催 (2 回/WEB) ・医療機関所属会員対象交流会の開催 (2 回/WEB) ・課題の抽出と検討 ・研修企画・検討 	
	就労ワーキング	<ul style="list-style-type: none"> ・会議の開催 (3 回/WEB) ・配信研修の実施、講師派遣等 ・アンケート分析から課題の抽出と検討、今後に向けた協議 	
	ピアワーキング	ワーキング立ち上げに向けた準備、検討	
組織強化部	ブロック	ブロック活動の企画・実施 (詳細は下記にて報告)	
	関係団体連携	ソーシャルワーカー 3 団体連絡会議への参加 (5 回/WEB) SW デイ 講演会の企画実施 (WEB)、実践研究学会の企画実施 (WEB)	
権利擁護部	成年後見ワーキング	日本精神保健福祉士協会「クローパー」等、関係団体との連携、会議への参画、研修講師の派遣	

※必要に応じ課題に対してワーキング、プロジェクト等を適宜設置する

(5) ブロック活動

ブロック	活動内容
東部	<ul style="list-style-type: none"> ・協力員会議 (WEB) ・まじめに勉強する会 (4回/WEB) ・ブロック研修「コロナ禍で顕在化した課題」(12月/WEB) ・東部MSW協会との合同事例検討会 (1月/WEB)
中部	<ul style="list-style-type: none"> ・静岡地区 協力員会議 (5回/WEB)、勉強会 (3回/WEB) ・志太榛原地区 打ち合わせ (1回/WEB)、勉強会 (4回/WEB) ・ブロック全体 合同研修の企画 (延期)
西部	<ul style="list-style-type: none"> ・中東遠地区 協力員会議 (3回/WEB)、しゃべくり中東遠 (2回/WEB) ・浜松地区 協力員会議 (3回/WEB)、地区勉強会 (12月/WEB)

3. 研修事業

(1) 基幹研修 I 参加者 30 名

日 程	2022年1月29日(土)	場 所	オンライン開催
内 容	講義等(公社)日本精神保健福祉士協会の委託事業として実施する		
講義1	「公益社団法人日本精神保健福祉士協会の役割と課題」		水野拓二(鷹岡病院)
講義2	「精神保健福祉士の専門性I」		菅原小夜子(特定非営利活動法人こころ)
講義3	「精神保健福祉士の実践論I」		澤野文彦(沼津中央病院)
演習1	「グループワーク」		司会:中村倫也(静岡県立こころの医療センター)

(2) 冬季研修 参加者 74 名

日 程	2022年2月27日(日)	場 所	オンライン開催
内 容	講義、実践報告、演習		
テーマ	今さら聞けない「意思決定支援」～「意思」を知る“かかわり”とは～		
講 義	今さら聞けない「意思決定支援」～「意思」を知る“かかわり”とは～ 講師:高木誠一氏(相談支援事業所まど)		
全体ワーク	「意思」を知る“かかわり”を考える 講 師:高木誠一氏(同上) 進 行:海野洋一郎(みどりの樹)		
実践報告	「意思」を知る“かかわり”～現場での取り組みと葛藤・悩み～ 講 師:高木誠一氏(同上) 進 行:海野洋一郎(同上) 報告者:綾部友太(鷹岡病院)、坪井明日香(特定非営利活動法人こころ)		
全体ワーク	まとめ 「意思」を知る“かかわり”を考える ～明日からできること～ 講 師:高木誠一氏(同上) 進 行:山口雅弘(鷹岡病院)		

報 告	2021 年度静岡県精神保健福祉士協会の取り組み
-----	--------------------------

(3) 配信研修

配信月	テーマ	主な講師
6 月	「会長あいさつ（今年度の研修について）」	会長 菅原小夜子（特定非営利活動法人こころ）
7 月	「精神科病院における精神保健福祉士の役割」	平野真子、林真悠 （静岡県立こころの医療センター）
10 月	「行政に所属する精神保健福祉士の役割」	杉本幸大（中部健康福祉センター） 鈴木伸二（サポートセンターなかせ） 安達万里子（特定非営利活動法人こころ）
10 月	「医療機関が行うリワーク支援」	就労ワーキング 海野洋一郎（みどりの樹） 金田祥史（至空会） 浅野輔（三方原病院）
1 月	「学んでみよう！相談支援専門員とサービス管理責任者って、何する人？」	相談ワーキング 鈴木伸二（サポートセンターなかせ） 安達万里子（特定非営利活動法人こころ）

(4) ソーシャルワーカーデー普及啓発イベント 参加者 131 名（3 団体合計）

日 程	2021 年 7 月 25 日（日）	場 所	オンライン開催
テーマ	地域共生社会とソーシャルワーカーの役割		
基調講演	講師：土屋幸己氏（一般社団法人コミュニティーネットハビネス）		
シンポジウム	シンポジスト ・高橋邦典氏（一般社団法人静岡県社会福祉士会会長） ・中村 敬氏（静岡県ソーシャルワーカー協会会長） ・菅原小夜子（一般社団法人静岡県精神保健福祉士協会会長）		

(5) 静岡県ソーシャルワーク関係団体実践研究学会 参加者 22 名（3 団体合計 82 名）

日 程	2022 年 2 月 5 日（土）	場 所	オンライン開催
内 容	実践研究発表		
当協会会員 発表	・「コロナ禍における職能団体の人材育成の取り組み ～配信研修の実施から研修のあり方を再考する～」 発表者：望月信吾（溝口病院） ・「熱海市土石流災害に係る静岡県精神保健福祉士協会の取り組み」 発表者：中村倫也（静岡県立こころの医療センター）		

4. 出版・広報に係る事業

(1) 静岡 PSW 研究

NO. 32 編集作業。年度内の発刊に至らず、次年度に持ち越しとなった。

今後の冊子のあり方、委員会体制の再編等について検討した。

(2) (一社) 静岡 PSW つうしん

NO. 7～No. 10 の編集、発行を行った。

(3) ホームページ管理

ホームページは外部業者と管理契約を結び、更新等の作業を一部委託。日常的な更新作業は主に協会担当者が行った。次年度はホームページをリニューアルし、日常的な更新作業の簡素化を図る。これにより迅速な情報発信に繋げていく。

Facebook は災害時の対応等で活用、情報発信を行った。

5. 関係機関、関係団体との連携及び講師等派遣

(1) 各種機関・団体との情報交換及び連携

① ソーシャルワーク関係団体との連携

i) 会議 (WEB にて開催)

内容	開催月	参加者
静岡県ソーシャルワーク関係団体連絡協議会	6月、9月、12月、3月	前林勝弥、山口雅弘、田中幸子
県障害者差別解消相談事例検討会	3月	菅原小夜子、山口雅弘、安達万里子

ii) 研修 (一部再掲)

内容	日程	派遣者
ソーシャルワーカーデー普及啓発イベント	2021年7月25日	菅原小夜子
実践研究会	2022年2月5日	菅原小夜子、前林勝弥、山口雅弘 田中幸子、興津奈緒美

② 行政政策機関等との連携、意見交換、会議への参画 (一部再掲)

内容	日程	場所	派遣者
静岡市成年後見制度利用検討会	2021年5月、8月 10月、11月 2022年1月、2月	静岡市中央 福祉センター	山口雅弘、中村倫也
静岡県自立支援協議会地域移行定着部会研修ワーキング	2021年6月、10月	オンライン	菅原小夜子、澤野文彦 鈴木伸二、山口雅弘
静岡県自立支援協議会地域移行定着部会ピアワーキング	2021年6月、10月	オンライン	菅原小夜子、澤野文彦 鈴木伸二、山口雅弘
熱海市土石流災害に係る静岡 DPAT 活動の反省会	2021年9月24日	オンライン	中村倫也
静岡県自立支援協議会地域移行部会	2021年11月 2022年3月	オンライン	澤野文彦
地域包括ケア推進ネットワーク会議	2021年11月 2022年3月	オンライン	山口雅弘
熱海市伊豆山ささえ逢いセンター相談員研修	2022年1月6日	熱海市総合福祉センター	山口雅弘
藤枝市権利擁護検討会議 (受任調整会議)	2022年2月3月	藤枝市福祉センターすみれ	山口雅弘、中村倫也

「静岡県障害を理由とする差別の解消の推進に関する条例」の改正に係る意見交換会	2022年2月22日	藤枝総合庁舎	菅原小夜子、山口雅弘
----------------------------------------	------------	--------	------------

③関係団体との連携、会議等への参加等

内容	日程	場所	派遣者
五会合同賀詞交歓会	2022年1月7日	オンライン	菅原小夜子、澤野文彦
甲州東海ブロック家族会精神保健福祉促進研修会静岡大会	2022年3月10日	あざれあ	前林勝弥
なんでもかんでも相談会	2021年4月～ 2022年3月(6回)	静岡市清水 医師会	前林勝弥、望月信吾 中村倫也、平野真子 田中幸子、鍋田麻里 三浦貴史、堀義博 久保田絵美子、石川裕己 興津奈緒美

(2) 講師の派遣等

研修名	日時	場所	派遣者
精神科訪問看護研修	2021年6月5日	あざれあ	山口雅弘
成年後見制度利用促進セミナーin静岡	2021年10月29日	司法書士会館	菅原小夜子
精神保健福祉普及啓発講座	2021年12月23日	富士総合庁舎	松井淳
成年後見制度理解促進出前講座	2022年1月26日	県立沼津特別支援学校愛鷹分校	山口雅弘
静岡市市民後見人フォローアップ研修	2022年2月28日	静岡市中央福祉センター	山口雅弘
ジョブコーチスキルアップ研修	2022年2月24日	オンライン	山口雅弘、小山隆太 海野洋一郎、渡邊里佳

(3) 事業の受託・事業への協力

①精神障害者雇用推進アドバイザー事業（アドバイザーの派遣）

i) 派遣実績（年間）

派遣日数：171日

ii) アドバイザー一覧

ブロック	氏名	所属
東部	青木 大輔	田方・ゆめワーク
	勝又美智子	ワークショップまごころ
	石田 誠	サニープレイスカんなみ
	鈴木 伸二	サポートセンターなかせ
	植松 若菜	富士山ドリームビレッジ
	小山 隆太	鷹岡病院
	松井 淳	鷹岡病院
中部	渡邊 里佳	こむぎ
	岩本有喜子	さがら作業所
	黒田 麻喜	暁
	小柳 保徳	ワークステップ With
	石川 裕己	グリーンワークス・リラ
	平野 真子	静岡県立こころの医療センター
西部	金田 祥史	だんだん
	海野洋一郎	社会福祉法人みどりの樹
	加藤 寛盛	特定非営利活動法人遠州精神保健福祉をすすめる市民の会
	沢居なおみ	さわや家
	平野慎一郎	小笠病院

②職業能力開発校への相談派遣事業

i) 相談派遣の実施

・実績

相談人数（実人数）	11人	相談件数（延べ件数）	47件
-----------	-----	------------	-----

・派遣先

派遣先	派遣者
静岡県立あしたか職業訓練校	山口雅弘、丸山祐貴子
静岡県立工科短期大学校沼津キャンパス	鈴木伸二
静岡県立工科短期大学校静岡キャンパス	中村倫也

③静岡県精神障害者支援の障害特性と支援技法を学ぶ研修事業

日程	2021年12月23日（木）	場所	オンライン開催
内容	講義（事前視聴）、演習（オンライン）	修了者	158名
講義1	精神障害者の特性の総論的理解	澤野文彦（沼津中央病院）	
講義2	障害特性の理解と具体的な対応①	水野拓二（鷹岡病院）	
講義3	障害特性の理解と具体的な対応②	澤野文彦（沼津中央病院）	
講義4	障害特性の理解と具体的な対応③	中村倫也（静岡県立こころの医療センター）	

講義 5	障害特性の理解と具体的な対応④	中村倫也（静岡県立こころの医療センター）
講義 6	障害特性の理解と具体的な対応⑤	中村倫也（静岡県立こころの医療センター）
講義 7	社会資源と連携、家族支援	前林勝弥（静岡市こころの健康センター）
講義 8	当事者の想いを理解	当事者 2 名（特定非営利活動法人こころ） 菅原小夜子（特定非営利活動法人こころ）
演習 1	グループワーク ・障害特性の理解と想定	澤野文彦（沼津中央病院） ・想定場面での対応方法及び援助技術①
演習 2	グループワーク ・障害特性の理解と想定	中村倫也（静岡県立こころの医療センター） ・想定場面での対応方法及び援助技術②
演習 3	グループワーク ・効果的な支援のための関係機関との連携	前林勝弥（静岡市こころの健康センター）

(4) 精神保健福祉士を養成する大学等との情報交換及び連携

大学	内容	日時	派遣者
聖隷クリストファー大学	実習報告会/実習担当者会議	2021年6月29日	海野洋一郎
	施設利用説明会及び就職懇談会	2021年12月27日	川嶋章記

6. 体制整備

(1) 組織体制の見直し・強化

組織体制の再編について引き続き検討した。

分野ごとのワーキンググループを設置。課題の明確化を図り、より効率的に政策提言を行える体制整備を図った。感染症拡大の影響を受け対面では十分な活動を行うことができなかったが、オンライン等を活用して活動した。

(2) 事務局体制の整備

事業受託により事務局体制の課題が明確となった。人員体制やハード面の強化等、引き続き取り組む必要がある課題を確認した。

(3) 意見集約の体制整備

ブロック活動やワーキングの活動を通して実態把握や課題集約を行うことができた。職能団体として会員の声を集約できる体制整備までは至らなかったが、そこに至るための土台作りはできた。

7. 災害対策

(1) 熱海市で発生した土石流災害に関する対応

①主な対応経過

日時	項目	内容
2021年 7月3日	土石流発生 情報収集	理事ミーリング、東部ミーリングで情報収集の呼びかけ
7月4日	Facebookでの発信	豪雨災害に伴う今後の対応についてのメッセージ①掲載
7月5日	ホームページでの発信	豪雨災害に伴う今後の対応についてのメッセージ①掲載
7月5日	県へ協力についての申し出	県精神保健福祉室へ協会としての協力可能の旨伝える
7月6日	臨時災害対策会議	現状の確認（情報集約）、県協会会員、支部構成員の状況確認 災害対策本部立ち上げの検討
7月7日	県精神保健福祉室室長より連絡	DPAT活動終了後のメンタルヘルス支援活動に関しての事前確認
7月8日	県精神保健福祉室担当者との今後の相談	上記について、公認心理師協会と合同での派遣活動についての事前確認
7月8日	日本精神保健福祉士協会への報告	ミーリングで現状報告
7月10日	ホームページでの発信	豪雨災害に伴う今後の対応についてのメッセージ②掲載
7月11日	ブロック協力員への呼びかけ	現地への派遣について協力の呼びかけ
7月12日	Facebookでの発信	豪雨災害に伴う今後の対応についてのメッセージ②掲載
7月17日	県庁からの打診	現地での支援活動への協力について県から打診
7月20日	臨時災害対策会議	県庁からの協力打診を受け依頼内容の確認、検討
7月20日	災害対策本部立ち上げ	県庁からの依頼を受け情報集約、体制整備のため対策本部立ち上げ
7月25日	県SW3団体での協議	県社会福祉士会会長より、3団体の集まりにて災害対応への協力打診
7月26日	県SW3団体へ協力可能の申し出	県社会福祉士会へ協力可能の旨伝える
7月27日	ヒアリング活動について会員へ周知（ホームページ、ミーリング）	熱海市でのヒアリングについての募集要項受け取る。要項を各ミーリングで共有。ホームページへ要項をアップ
7月28日	会員への周知	ヒアリングについてFacebookへアップ
7月29日	県との事業打ち合わせ	県担当者よりメンタルケア相談に係る事業概要の説明
7月29日 ～8月6日	ヒアリング活動	ヒアリング活動への協力
7月30日	県庁からの依頼	県庁よりメンタルケア相談への会員派遣について正式な依頼
8月1日	会員への周知	メンタルケア相談への協力について周知（ホームページ）
8月3日	熱海市への派遣開始	派遣開始
8月3日	会員への周知	メンタルケア相談への協力について周知
8月31日	熱海市への派遣終了	派遣終了
8月31日	災害対策本部解散	派遣活動終了に伴い解散
9月9日	熱海市土石流災害に係るDPAT活動の反省会	県主催会議への参加（オンライン）
2022年 1月6日	熱海市伊豆山支え逢いセンター相談員研修熱海市	静岡県社会福祉会議主催会議への参加

②派遣実績

- i) 熱海市災害ボランティアセンター主催「今後の生活再建におけるニーズ・状況把握」

実施主体	熱海市、熱海市社会福祉協議会（熱海市災害ボランティアセンター）
協力	JVOAD(全国災害ボランティア支援団体ネットワーク)
参加者数	延べ210人 (SW団体内訳) 静岡県精神保健福祉士協会 延べ10人(実7人) 静岡県社会福祉士会 延べ71人(実30人) 静岡県医療ソーシャルワーカー協会 延べ6人(実4人)
訪問総数	152世帯(180人)

ii) こころのケア相談

実施主体	静岡県
派遣協力	静岡県精神保健福祉士協会、静岡県公認心理師協会
派遣日数	9日
派遣者数	18人(実17人)

派遣者一覧

日程	氏名	所属
8月3日	中村 倫也	静岡県立こころの医療センター
	秋津 崇史	サポートセンターいとう
8月6日	鈴木 伸二	サポートセンターなかせ
	青野 真梨亜	ふれあい沼津ホスピタル
8月10日	山口 雅弘	鷹岡病院
	内田 浩二	大富士病院
8月13日	杉山 智子	就労支援事業所かのん
	石澤 一美	聖明病院
8月17日	前林 勝弥	静岡市こころの健康センター
	山口 雅弘	鷹岡病院
8月20日	丸山 祐貴子	鷹岡病院
	渡辺 大	大富士病院
8月24日	北舘美沙依	沼津中央病院
	植松 若菜	富士山ドリームビレッジ
8月27日	牛島 聖美	公益財団法人復康会社会復帰事業部
	内田 裕之	沼津中央病院
8月31日	久保田 絵美子	富士宮市
	伊藤 田恵子	サポートセンターひまり

(2) 公益社団法人日本精神保健福祉士協会主催事業への委員派遣

事業名	日時	場所	派遣者
心のケア相談研修	2021年10月28日	オンライン	中村倫也、小山友理子 丸山祐貴子
2021年度ブロック災害対策連絡会	2021年11月20日	オンライン	中村倫也、丸山祐貴子

8. 委員等の派遣

委員会名	氏名	所属
静岡県精神保健福祉審議会	渡邊 里佳	特定非営利活動法人こころ

精神科救急医療システム連絡調整委員会	澤野 文彦	沼津中央病院
措置入院適正運営協議会	澤野 文彦	沼津中央病院
静岡県精神医療審査会	川島 茉己	鷹岡病院
	田中 佐代子	静岡てんかん・神経医療センター
	久野 満津代	沼津中央病院
静岡県アルコール健康障害対策連絡会議	中村 倫也	静岡県立こころの医療センター
静岡市精神保健福祉審議会	望月 信吾	溝口病院
静岡市精神医療審査会	伊藤 陽子	社会福祉法人ひつじ えひめ
	橋本 睦美	静岡てんかん・神経医療センター
	岩川 純子	特定非営利活動法人こころ
静岡市障害支援区分認定等審査会	田中 佐代子	静岡てんかん・神経医療センター
	平野 真子	静岡県立こころの医療センター
	田中 幸子	株式会社カクニ茶藤
静岡市認知症初期集中支援チーム検討委員会	望月 信吾	溝口病院
静岡市地域包括支援センター運営協議会	望月 信吾	溝口病院
浜松市障害支援区分審査会	岸 直樹	浜松市障がい者基幹相談支援センター
	大場 拓弥	三方原病院
浜松市介護認定審査会	大谷 晶子	地域生活支援センターせせらぎ
	本永 栞	神経科浜松病院
	額 久仁	浜松市障がい者相談支援センターみなづき
三島市成年後見制度利用促進連携協議会	澤野 文彦	沼津中央病院
藤枝市障害支援認定審査会	渡邊 祐里	特定非営利活動法人こころ
藤枝市障害支援認定審査会	鶉 領太郎	地域生活支援センターせせらぎ
島田市障害支援区分認定等審査会	渡邊 里佳	特定非営利活動法人こころ
	八木 光春	M ネット東遠
掛川市障害支援区分認定等審査会	倉橋 真弓	地域生活支援センターM ネット
	平野 慎一郎	小笠病院
	石神 裕子	菊川市立総合病院
川根本町障害支援区分認定審査会	坪井 明日香	特定非営利活動法人こころ
静岡県社協 福祉サービス運営適正化委員会	三谷 美貴子	—
静岡県社協 日常生活自立支援事業 契約締結審査会	中村 倫也	静岡県立こころの医療センター
浜松市社協 日常生活自立支援事業 契約締結審査会	浅野 輔	三方原病院
牧之原市障害支援区分審査会	菅原 小夜子	特定非営利活動法人こころ
	安達 万里子	特定非営利活動法人こころ

9. 表彰推薦

(1) 外部表彰への協会推薦

被推薦者氏名	推薦内容
菅原 小夜子	精神保健福祉事業功労者厚生労働大臣表彰

10. 会員の動向

(1) 新入会 13名

	氏名	所属機関
1	高木 弘貴	神経科浜松病院
2	青野 真梨亜	ふれあい沼津ホスピタル
3	深澤 良子	静岡県地震防災センター
4	内山 綾音	神経科浜松病院
5	鈴木 はるか	沼津中央病院
6	江村 理歩	清水駿府病院
7	加藤 美生	大富士病院
8	中村 幹子	医療法人社団灯信会
9	増田 壮真	溝口病院
10	日比 海鈴	静岡市支援センターなごやか
11	杉山 公彦	藤枝駿府病院
12	大沼 柴乃	日本平病院
13	土岐 宏枝	こひつじ診療所

(2) 退会 45名 (年度内の退会扱い者含む)

	氏名	所属機関
1	蔭西 志保	サポートセンターひまり
2	酒井 美保子	塚田医院
3	大嶋 光枝	メンタルクリニック・ダダ
4	原田 陽子	好生会はまかぜ
5	朝倉 美穂	好生会はまかぜ
6	楠目 信三	近森リハビリテーション病院
7	窪田 洋子	南富士病院
8	五十嵐 幸恵	—
9	佐藤 春子	みどりの樹
10	伊東 守弘	M ネット東遠
11	西郷 早貴	M ネット東遠
12	大原 徹	—
13	吉田 努	朝山病院
14	青嶋 孝成	遠江病院
15	星崎 修	藤枝第一心愛
16	大谷津 孝太郎	—
17	鈴木 雅子	メンタルサポート みこち

18	平塚 彩夢	浜松市中区役所 社会福祉課
19	山田 詢子	神経科浜松病院
20	鈴木 郁恵	—
21	伊藤 眞理	障害福祉サービス事業所だんだん
22	石井 信宏	ふれあい南伊豆ホスピタル
23	前原 可奈	大仁警察署
24	瀬瀬 久仁	医療法人 はまかぜ
25	鈴木 芽衣	—
26	杉山 雅俊	—
27	山田 千鶴子	山田産業有限会社
28	松村 理絵	聖明病院
29	青木 悦子	グループホームはまゆう寮
30	竹下 実奈	東静岡メンタルクリニック
31	中村 香苗	鷹岡病院
32	佐藤 彩乃	株式会社 I・S りあん
33	加藤 啓太	びあクリニック
34	菊池 義人	社会福祉法人ひつじ
35	新庄 裕那	—
36	佐野 睦	沼津市役所障害福祉課
37	岡田 真也	遠江病院 相談室
38	須和 千穂子	—
39	伊藤 未来	特定非営利活動法人こころ
40	大橋 勇紀	はまかぜ
41	藤田 啓二	清水駿府病院
42	関 友三郎	—
43	原田 正美	—
44	上西 雅子	相談室こころ
45	鍵山 周吾	静岡市立静岡病院

2022年4月1日現在 会員数 436名

Ⅲ 2021年度収支決算報告

2021年度収支決算について、第3期財務諸表（別紙）にて報告する。

会計監査報告

一般社団法人静岡県精神保健福祉士協会規約により、令和3年度決算を監査したところ、収入、支出、共に適正であり、諸帳簿と相違ないことを認めます。

令和 4 年 4 月 20 日

一般社団法人 静岡県精神保健福祉士協会
会 長 菅原 小夜子 殿

監 事 三谷 美貴子 

監 事 藤田 尚 

【報告事項1】2022年度事業計画及び収支予算に関する件

一般社団法人静岡県精神保健福祉士協会 2022年度事業計画（案） （自：2022年4月1日 至：2023年3月31日）

定款第3条の目的を達成するため、定款第4条に基づき、次の事業に取り組む。

I 2022年度活動指針

1. 一般社団法人静岡県精神保健福祉士協会活動指針

- (1) 社会的責務を果たすことのできる人材育成を行い、会員の資質の向上を図る
- (2) 精神障害者の社会的復権をめざし、誰もが安心して暮らすことができる地域をつくる
- (3) 県民のこころの健康の増進を図る

2 重点課題

本協会は、精神障害者の社会的復権と福祉の向上、及び虐待や自死、社会的孤立等に象徴されるこころの健康に関する課題に対し、その専門性を発揮し、「障害のあるなしにかかわらず多様な生き方が尊重され、かけがえのない存在であることを認め合える社会の実現」を目指し、様々な取組を展開している。そして、昨今の益々多様化、複雑化、拡大化する課題に取り組んでいくために、組織を構成している精神保健福祉士一人ひとりの自覚と実行、そしてそれを下支えするための強固な組織体制の構築が求められている。それに伴い、より一層の職能団体としての使命を果たしていくことを目指し、2019年度法人格を取得した。

しかし、2020年2月に発生した新型コロナウイルス感染症の蔓延は、本協会の活動にも大きな影響を及ぼし、2020年度の活動の多くが中止、2021年度も十分な活動を行うことができなかった。その中でも感染予防のために参集ではなくリモートの活用によって研修や会議等実施したものの、結果的にそれは人とつながる機会を失うことでもあり、この2年間における入会者数の激減と退会者数の激増につながった。また、活動の停滞は、精神障害者を取り巻く様々な課題に対する取組の政策提言という、職能団体としての最も重要な使命を十分果たすことをも困難とした。

そこで、今年度はウィズコロナの状況下で、従来掲げている3本柱「人材育成」「政策提言」「組織強化」について、この2年間取り組むことができなかったことを確実に実行していくこととともに、災害関連の体制整備やピアサポーター養成に係る事業等、新たな課題へも取り組むこととする。一方、コロナ禍において精神障害者に対する権利侵害の深刻さは増しているため、その実態を把握しながら具体的な取組へとつなげていきたい。また、2年後に控えた日本協会との一本化に向けて、会員の安定的な入会と専門職としての人材育成環境を整えていくことが重要と考える。

以上のことから、今年度は以下3点を重点課題とし挙げ取り組む。

(1) 人材育成

- ①人材育成の中核機能である研修体制及び実施方法について、より効果的、効率的に実施できる体制を再構築する
 - ・研修企画体制の再検討を図る
 - ・引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染状況を見ながらオンラインを活用した研修と参集型の研修を組み合わせて実施する
 - ・ピアサポーター養成にかかわる人材の育成を図る

- ・スーパービジョン体制の構築につなげるため、計画的なスーパーバイザー養成を図る

(2) 政策提言

- ①地域共生社会の実現を目指す中で顕在化する課題に対し、県及び政令市に対し適時適切に政策提言を行う
 - ・ブロック活動及び課題別ワーキンググループ等からの意見集約から地域課題化を図り、具体的な政策提言へとつなげる
- ②日本精神保健福祉士協会から要請のあるソーシャルアクションに積極的に協力する

(3) 組織体制の強化

- ①分野ごとのワーキンググループを設置し、具体的な活動ができる体制を目指す
- ②ブロック活動における協力員の役割の明確化を図り、各ブロックの地域性を活かした活動を推進する
 - ・地域性やネットワークを活かした研修を実施する
 - ・ブロック内での様々な課題への意見集約を図り、地域課題として整理する
- ③災害関連の取組について、他団体等協力しながら具体的な体制整備を図る
- ④法人運営の安定化を図るため、事務局機能の強化及び収支バランスの適正化を目指す
 - ・規約整備を行う
 - ・安定的な事務局機能が図れる体制を作るため、週5日開局を目指す
 - ・協会業務執行体制を見直し、事務局機能の強化を図る（理事の役割分担、特に事務局長のサポート体制整備について検討する）
- ⑤日本精神保健福祉士協会との連携を一層強化する
 - ・2024年度に日本協会と県協会との一本化が円滑に行われるような体制を作る
 - ・県協会及び日本協会への入会の促進を図る
- ⑥情報発信の充実を図る
 - ・従来からのつうしん、ホームページ等での情報発信に加え、チェックインシステム等新たに導入したシステムを円滑に運用し、より多くの会員に情報が届く体制を作る

II 事業計画

1. 総会

日程	2022年5月29日（日）	場所	グランシップ
内容	2021年度静岡県精神保健福祉士協会事業報告及び収支決算に関する件 2022年度事業計画に関する件、収支予算に関する件 公益社団法人日本精神保健福祉士協会支部活動報告		

2. 理事会、委員会等

(1) 理事会、理事の会合、三役会

参集での開催を基本としながら、状況に応じてWEB会議等も併用して開催する

通常理事会	4月24日、8月14日、12月18日、3月26日	※日程は予定、変更の可能性あり
臨時理事会	必要時に開催	
理事の会合	5月、6月、10月、2月	※日程未定、開催月変更の可能性あり
三役会議	5月、6月、7月、9月、11月、1月、3月	※日程未定、開催月変更の可能性あり

(2) 部・委員会・ワーキング・プロジェクト

部・委員会		活動内容（予定）	
事務局 (理事会)	総務	会員管理、会計、委託事業の実施	
	広報	つうしん	「静岡PSW つうしん」編集作業（記事や内容の検討、校正作業等） 年4回発行予定。WEB配信の検討
		ホームページ 等	・ホームページの管理、情報更新 ・会員への情報発信体制の検討
		PSW研究	機関誌「静岡PSW研究」編集作業（校正作業等）、合併号の発行
理事会	災害対策	・発災時の安否確認の仕組みや災害派遣等を含めた支援、受援の体制について検討する ・災害対策計画を改定し周知を図る機会を検討する ・関連団体との連携体制について協議する。静岡 DWAT 等県内のネットワークへの参画を目指す	
	調査研究	社会的な課題に対する調査研究を行う。関係団体の委託研修事業などを想定する	
	Web環境整備 プロジェクト	・一斉メール配信システムの登録推進と管理方法を定める ・ホームページの新たな管理方法の完成 ・ホームページ更新やSNSの利用方法の検討 ・広報（事務局）との連携や役割分担 ・必要な機材やソフトの購入	
	ピアサポーター養成研修	ピアサポーター養成研修を企画・実施する	
人材育成部	研修プロジェクト	配信研修を含めた新たな研修体系を確立し、持続可能な研修体制を構築する	
	スーパービジョン委員会	・県内のスーパービジョン体制を明文化し広報する ・スーパーバイザー養成研修への推薦を行う ・スーパーバイザーの活動状況の把握をする	
地域体制 整備部	相談ワーキング	・県内の相談支援体制及び自立支援協議会の現状を把握し、課題を抽出する。抽出した課題からソーシャルアクションについて考える ・ピアとの協働を模索する ・地域移行について、医療WGと協働し、県内の実施状況を知り、医療と福祉の連携について考える。併せて、コロナ禍における退院支援の現状と課題を整理しソーシャルアクションについて考える	
	医療ワーキング	・ブロック活動等から上げられた課題から精神科医療機関が抱える課題を抽出し、共有、整理する ・精神科医療機関に所属する精神保健福祉士の質の担保・向上が図れ	

		<p>るような取り組みを開催する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域移行促進のため相談 WG と協働し、医療と福祉の連携の在り方を協議する機会を創る
地域体制整備部	就労ワーキング	<ul style="list-style-type: none"> ・協議会の部会やその他地域ごとの任意団体等、就労支援に関する地域の実態を調査する ・地域ごとの連携の在り方、仕組み等の情報収集・整理をする ・福祉的就労と就労訓練、一般雇用現場などの運動性を調査する ・地域生活・就労支援センターの果たしている役割、地域からの期待など実態を調査する ・精神障害者雇用推進アドバイザー事業の評価 エリアごとの課題再抽出、成果のまとめ 静岡県担当課との就労施策についての協議への出席
組織強化部	ブロック	ブロック活動の企画・実施（詳細は下記に記載）
	関係団体連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ソーシャルワーカー3団体連絡会議等、各種会議への参加 ・ソーシャルワーカーデーに係る事業の企画実施 ・実践研究会への参画 ・ソーシャルアクション体制の整備・検討
権利擁護部	成年後見ワーキング	<ul style="list-style-type: none"> ・日本精神保健福祉士協会のクローバー、成年後見制度に関連する関係団体との連携を図る。精神保健福祉士が成年後見制度へ関与できる体制及び環境を検討する ・生存権裁判の傍聴、会員への報告・発信

(3) ブロック活動（日程未定）

ブロック	活動内容
東部	<ul style="list-style-type: none"> ・まじめに勉強する会、課題別研修、東部 MSW 協会との合同研修、秋季研修の企画実施等 ・協力委員会議を通して地域課題の抽出等を行う
中部	<ul style="list-style-type: none"> ・静岡地区、志太榛原地区のそれぞれで研修会等を企画実施する ・昨年度より延期となっている合同研修（配信研修を基に）を年度の中盤に実施する ・静岡地区、榛原地区の交流の機会を合同の研修会以外においても検討する ・初任者研修及び基幹研修 I の企画実施等
西部	<ul style="list-style-type: none"> ・浜松、中東遠地区において協力員会議を開催する ・ブロック研修、浜松地区研修会、中東遠地区研修会を企画実施する ・地区内の精神保健福祉関係者の関係構築のため、引き続きしゃべくり中東遠を開催する ・その他、学習会や事例検討会等を開催する ・冬季研修の企画実施等

3. 研修事業

(1) 総会時研修

日程	2022年5月29日(日)	場所	グランシップ
内容	講義「精神保健福祉士の今までとこれから ～私たちの存在意義を問い直す～」 講師：田村綾子氏（公益社団法人日本精神保健福祉士協会 会長）		

(2) 基幹研修 I

日程	2022年7月23日(土)	場所	静岡県産業経済会館（静岡市内）
内容	講義及び演習 基幹研修 I は（公社）日本精神保健福祉士協会の委託事業として実施する ※状況に応じてすべて WEB 開催等となる可能性あり		

(3) 初任者研修

日程	2022年7月23日(土)、24日(日)	場所	静岡県産業経済会館（静岡市内）
内容	講義及び実践報告、演習等（23日は基幹研修 I と合同開催）		

(4) 秋季研修

日程	2022年10月23日(日)	場所	静岡市内
内容	講義等（内容未定）		

(5) 冬季研修

日程	2023年1月29日(日)	場所	静岡市内
内容	講義等（内容未定）		

(6) 課題別研修等

各ブロックで実施

(7) その他研修

必要に応じて開催

4. 広報・出版活動

(1) 静岡 PSW 研究

No. 32 の発行 今後の編集方法について検討する

(2) 静岡 PSW つうしん

年4回発行（6月、9月、12月、3月）

(3) ホームページのシステム変更、管理、更新

5. 関係機関、関係団体との連携及び社会活動の実践

(1) 精神保健福祉士を養成する大学等との情報交換及び連携

(2) 各種機関・団体との情報交換及び連携

①ソーシャルワーク関係団体との連携

②県弁護士会・司法書士会・法テラス静岡等との協力・連携

③行政機関との連携、意見交換

- ・静岡県自立支援協議会地域移行部会研修ワーキング・ピアワーキングへの参画等
- ・他意見交換や政策提言、要望等を行う

(3) 講師の派遣等

研修会等の講師を派遣する

(4) 事業の受託及び事業への協力

①職業能力開発校派遣事業への協力

②公的機関からの研修事業の受託

③その他公的な事業等への協力

6. 体制整備

(1) 組織体制の見直し・強化

組織体制の整備を継続的に行うことで人材育成、課題の明確化を図り、より効率的に政策提言を行える体制整備を図る。

(2) 事務局体制の整備

人員体制やハード面の強化等に取り組む。現在週3日開局しているが、週5日開局体制を目指す。

(3) 意見集約の体制整備

職能団体として会員の声を集約できる体制づくりについて引き続き検討する。メール、メーリングリスト、ソーシャル・ネットワーク・サービス（SNS）等、活用できる媒体を整え、協会の情報発信と意見集約の体制を整える。

(4) 日本精神保健福祉士協会との連携

2024年度の本化に向け、積極的に日本精神保健福祉士協会未入会者に働きかけを行う。

7. 災害対策

日本精神保健福祉士協会の災害対策研修、会議等へ担当者を派遣し、日本精神保健福祉士協会との連携を図る。

発災時の安否確認の仕組みや、災害派遣等を含めた支援、受援の体制を整える。

災害関連団体との連携体制について協議する。

8. 役員選出に係る選挙管理委員会の設置

2023年度及び2024年度役員選出のため、役員選出規程第8条に基づき選挙管理委員会を設置する

9. 会費納入方法の変更に係る手続き

会費の納入方法を原則銀行引き落としとするための手続きを進める。

銀行引き落としの書類を会員に配布、2024年度までに手続きを終了し、2025年度から全会員、会費は銀行引き落としとできるよう手続きを進めていく。

10. 委員等の派遣等

委員会名	氏名	所属
静岡県精神保健福祉審議会	渡邊 里佳	特定非営利活動法人こころ
精神科救急医療システム連絡調整委員会	澤野 文彦	沼津中央病院
措置入院適正運営協議会	澤野 文彦	沼津中央病院
静岡県精神医療審査会	川島 菜己	鷹岡病院
	田中 佐代子	静岡てんかん・神経医療センター
	久野 満津代	沼津中央病院
静岡県アルコール健康障害対策連絡会議	中村 倫也	静岡県立こころの医療センター
静岡県依存症対策連絡協議会	菅原 小夜子	特定非営利活動法人こころ
静岡 DPAT 連絡協議会	菅原 小夜子	特定非営利活動法人こころ
静岡県在宅療養支援ガイドライン検討会議	石神 泰登	菊川市立総合病院
静岡県居住支援協議会	澤野 文彦	沼津中央病院
静岡県人権会議	澤野 文彦	沼津中央病院
静岡県社協 福祉サービス運営適正化委員会	三谷 美貴子	—
静岡県社協 日常生活自立支援事業 契約締結審査会	中村 倫也	静岡県立こころの医療センター
静岡県精神保健福祉協会役員	望月 信吾	溝口病院
静岡市精神保健福祉審議会	望月 信吾	溝口病院
静岡市精神医療審査会	伊藤 陽子	社会福祉法人ひつじ えひめ
	橋本 睦美	静岡てんかん・神経医療センター
	岩川 純子	特定非営利活動法人こころ
静岡市障害支援区分認定等審査会	田中 佐代子	静岡てんかん・神経医療センター
	平野 真子	静岡県立こころの医療センター
	田中 幸子	(株) カクニ茶藤
静岡市認知症初期集中支援チーム検討会	望月 信吾	溝口病院
静岡市地域包括支援センター運営協議会	望月 信吾	溝口病院
静岡市日常生活自立支援事業審査会	堀 義博	はーとぼる
静岡市障害者自立支援協議会地域移行支援部会	石割 聖委子	さざ波てんかん神経クリニック
静岡市障害者自立支援協議会権利擁護・虐待防止部会	平野 真子	静岡県立こころの医療センター
静岡市介護認定審査会	望月 信吾	溝口病院
	石割 聖委子	さざ波てんかん神経クリニック
	中村 倫也	静岡県立こころの医療センター
	太田 雅士	静岡県立こころの医療センター
	石川 裕己	特定相談支援事業所 リライフ
	岩ヶ谷 香織	—
	廣澤 千衣子	清水駿府病院
	沼尻 武能	日本平病院
浜松市精神医療審査会	川嶋 章記	だんだん
	山本 恵理子	はまかぜ
	小山 友理子	三方原病院
浜松市障害支援区分審査会	岸 直樹	浜松市障がい者基幹相談支援センター
	大場 拓弥	三方原病院

浜松市介護認定審査会	大谷 晶子	地域生活支援センターせせらぎ
	本永 栞	神経科浜松病院
	山下 由佳	はまかぜ
三島市成年後見支援センターコーディネイト委員会	澤野 文彦	沼津中央病院
沼津市成年後見制度推進協議会	澤野 文彦	沼津中央病院
裾野市障害支援区分判定審査会	杉山 智子	就労支援事業所 かのん
富士市障害支援区分等認定審査会	山口 雅弘	鷹岡病院
藤枝市障害支援認定審査会	渡邊 祐里	特定非営利活動法人こころ
藤枝市障害支援認定審査会	鶴 領太郎	静岡福祉大学
島田市障害支援区分認定等審査会	渡邊 里佳	特定非営利法人こころ
	八木 光春	M ネット東遠
3市1町成年後見推進委員会	菅原 小夜子	特定非営利活動法人こころ
掛川市障害支援区分認定等審査会	倉橋 真弓	地域生活支援センターM ネット
	平野 慎一朗	小笠病院
	後藤 瑞希	菊川市社会福祉協議会
川根本町障害支援区分認定審査会	坪井 明日香	特定非営利活動法人こころ
浜松市社協 日常生活自立支援事業 契約締結審査会	遠藤 知子	就労支援センター ふらっと
牧之原市障害支援区分審査会	菅原 小夜子	特定非営利活動法人こころ
	安達 万里子	特定非営利活動法人こころ

Ⅲ 2022（令和4）年度収支予算に関する件

収支予算書

令和 4年 4月 1日 から令和 5年 3月 31日 まで

（単位：円）

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①会費収入				
正会員会費収入	3,276,000	3,269,000	7,000	7,000円×468名
入会金収入	30,000	20,000	10,000	1,000円×30名
会費収入計	3,306,000	3,289,000	17,000	
②事業収入				
委託事業	2,225,000	3,290,000	△ 1,065,000	県からの委託事業
研修事業	640,000	300,000	340,000	
その他の収入	0	0	0	前年度実績による
事業収入計	2,865,000	3,590,000	△ 725,000	
③補助金等収入				
支部活動協力費収入	458,140	458,140	0	前年度実績による
補助金等収入計	458,140	458,140	0	
④雑収入				
受取利息収入	20	20	0	預金利息
雑収入	0	10,000	△ 10,000	
雑収入計	20	10,020	△ 10,000	
事業活動収入合計	6,629,160	7,347,160	△ 718,000	
2. 事業活動支出				
①事業費支出				
給料手当支出	770,000	1,100,000	△ 330,000	事業給与、研修講師等
会議費支出	80,000	0	80,000	理事会
旅費交通費支出	795,000	300,000	495,000	研修講師交通費等
通信運搬費支出	110,000	30,000	80,000	
消耗品費支出	58,000	350,000	△ 292,000	
印刷製本費支出	500,000	800,000	△ 300,000	総会資料、つうしん、静岡PSW研究等
賃借料支出	542,000	160,000	382,000	会場使用料等
諸謝金支出		1,100,000	△ 1,100,000	事業謝金、外部委託謝金等
租税公課支出		0	0	
雑支出	715,000	500,000	215,000	
事業費支出計	3,570,000	4,340,000	770,000	

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
②管理費支出				
給料手当支出	960,000	700,000	260,000	事務局員給与
法定福利費支出	10,000	3,000	7,000	労働保険料
交際費支出	10,000	30,000	△ 20,000	
旅費交通費支出	280,000	240,000	40,000	交通費、通勤費等
通信運搬費支出	1,200,000	1,160,000	40,000	電話代、郵送料、WEBシステム使用料等
消耗品費支出	120,000	120,000	0	事務局消耗品、備品等
修繕費支出	30,000	50,000	△ 20,000	
印刷製本費支出	100,000	350,000	△ 250,000	
光熱水料費支出	70,000	66,000	4,000	システム共益費
賃借料支出	5,000	5,000	0	
租税公課支出	80,000	71,000	9,000	法人県市民税均等割
諸会費支出	30,000	30,000	0	
雑支出	150,000	150,000	0	税理士報酬、振込手数料等
管理費支出計	3,045,000	2,975,000	70,000	
事業活動支出合計	6,615,000	7,315,000	△ 700,000	
事業活動収支差額	14,160	32,160	△ 18,000	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
投資活動収入合計	0	0	0	
2. 投資活動支出				
①固定資産取得支出				
什器備品購入支出				
投資活動支出合計	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入合計	0	0	0	
2. 財務活動支出				
財務活動支出合計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出	0	0	0	
予備費支出	0	0	0	
当期収支差額	14,160	32,160	△ 18,000	
前期繰越収支差額	2,532,328	2,922,236	△ 389,908	
次期繰越収支差額	2,546,488	2,954,396	△ 407,908	

ただし、科目間の流用を認める

**【報告事項 2】 2021 年度公益社団法人日本精神保健福祉士協会支部活動報告及び
2022 年度支部活動予定**

1. 2021 年度活動報告

1) 定時総会の開催

構成員数 328 名のうち出席者 29 名、委任状 142 名の合計 171 名で総会成立

日程	2021 年 5 月 30 日 (日)	場所	グランシップ 1001-1・2
内容	【決議事項】 支部規約の変更に関する件、2021年度及び2022年度役員 (案) 【報告事項】 2020年度活動報告及び会議等報告、2021年度活動予定、その他報告事項		
議事内容	【第 1 号議案】 支部規約の変更に関する件 ・望月代議員より提案趣旨、変更内容について報告。 ・質疑等特になし。賛成多数により可決。 【第 2 号議案】 2021 年度及び 2022 年度役員 (案) ・澤野支部長より説明、質疑等特になし。賛成多数により可決。 【報告事項 1】 2020 年度活動報告及び会議等報告 ・望月代議員より報告、質疑等特になし。 【報告事項 2】 2021 年度活動予定 ・望月代議員より報告、質疑等特になし。 【報告事項 3】 その他報告事項 ・日本精神保健福祉士協会水野副会長より、精神保健医療福祉のビジョンについて報告。 ・質疑等特になし。		

2) 2021 年度 委員等の派遣 (所属は派遣当時)

役 職	氏 名	所 属
業務執行理事・第 3 副会長 権利擁護部 担当副会長 災害支援体制整備委員会 東日本大震災復興支援委員会 精神保健医療福祉ビジョン策定委員会 分野別プロジェクト「認知症」	水野 拓二	鷹岡病院
精神医療・権利擁護委員会	増田 喜信	静岡県西部健康福祉センター
代議員	望月 信吾	溝口病院
	平野慎一郎	小笠病院
精神保健福祉士の資質向上推進委員会	川島 菜己	鷹岡病院
クローバー運営委員会	山口 雅弘	鷹岡病院
研修企画運営委員会	水野 恵	コーポ狩野
倫理委員会	菅原小夜子	特定非営利活動法人こころ
分野別プロジェクト「診療報酬」	澤野 文彦	沼津中央病院

分野別プロジェクト「認知症」	新田 怜小	サポートセンターほっと
災害対策委員	中村 倫也	静岡県立こころの医療センター
	丸山祐貴子	鷹岡病院
	小山友理子	三方原病院

3) 日本精神保健福祉士協会理事会・支部長会議・ブロック会議等への出席

会議	参加者	日程
定時総会	代議員：望月信吾 平野慎一郎 理事：水野拓二	2021年6月20日（※）
臨時総会	代議員：望月信吾 平野慎一郎 理事：水野拓二	2022年2月6日（※）
通常理事会	水野拓二	第1回 2021年6月19日・20日（※） 第2回 2021年11月20日・21日（※） 第3回 2022年3月12日・13日（※）
理事による会合	水野拓二	2022年4月17日～18日（※）、5月15日～16日（※） 7月17日～18日（※）、9月25日～26日（※）、 10月16日17日（※）、12月18日～19日（※）、2022年1月22日～23日（※）、2月19日～20日（※）
正副会長会	水野拓二	理事会及び理事の会合に合わせて開催（※）
都道府県支部長会議	澤野文彦、水野拓二	2021年4月18日（※）
委員長会議	水野拓二、澤野文彦	第1回 2020年7月18日（※） 第2回 2021年2月20日（※）
ブロック会議	水野拓二、菅原小夜子 望月信吾、平野慎一郎 水野 恵	第1回 2021年9月26日（※） 第2回 2022年2月6日（※）

（※） 対面とWEB会議システムを併用あるいはWEB会議システムのみでの開催。

4) 研修会への参加、協力

- ①第56回公益社団法人日本精神保健福祉士協会全国大会（北海道大会）、第20回日本精神保健福祉士学会学術集会への参加

日時：2021年9月10日（金）～11日（土） *9月9日（木）午後プレ企画を開催

場所：WEB開催

- ②基幹研修Ⅰ 参加者30名

日程	2022年1月29日（土）	場所	オンライン開催
内容	講義等（公社）日本精神保健福祉士協会の委託事業として実施		
講義1	「公益社団法人日本精神保健福祉士協会の役割と課題」 水野拓二（鷹岡病院）		
講義2	「精神保健福祉士の専門性Ⅰ」 菅原小夜子（特定非営利活動法人こころ）		

講義 3	「精神保健福祉士の実践論 I」 澤野文彦（沼津中央病院）
演習 1	「グループワーク」 司会：中村倫也（静岡県立こころの医療センター）

2. 会議等報告 東海・北陸ブロック会議の報告

<第1回> 2021年9月26日（日）（全体会・分散会の2部構成にてWEB開催）

【全体会】報告事項（詳細は本協会HP参照）

- 1) 中期ビジョン2020の3つの柱と5か年の振り返りと評価に関する件（理事会）
- 2) 「精神保健医療福祉の将来ビジョン」に関する件（理事会）
- 3) 「医療基本法要綱案（医療基本法フォーラム版）」に関する件（理事会）
- 4) 組織強化委員会からの報告事項に関する件
- 5) 研修センターからの報告事項に関する件
 - ①新しい更新研修のあり方について
 - ②研修センター内に設置する委員会（研修企画運営委員会、精神保健福祉士の資質向上推進委員会）からのお願いについて
- 6) 災害支援体制整備委員会からの報告事項に関する件（配布資料のみ）
- 7) メディア連携委員会からの報告事項に関する件（配布資料のみ）
- 8) クローバー運営委員会からの報告事項に関する件（配布資料のみ）

【分散会】協議事項（意見聴取・意見交換を含む）

- 1) 中期ビジョン2020の3つの柱と5か年の振り返りと評価を踏まえた2022年度事業計画の策定における重点課題に関する件（理事会）
- 2) 国家資格のあり方に関する件（理事会）
- 3) 「都道府県支部アンケート調査」結果の集計に係る中間報告に関する件（組織強化委員会）
- 4) 研修企画運営委員会からの協議事項に関する件
- 5) ブロック内の都道府県精神保健福祉士協会等の活動報告等
 - ・コロナ禍における活動状況報告及び精神保健医療福祉への影響と対応好事例に関する情報交換
 - ・精神科病院等における利用者への権利侵害事件が発生した際の対応等について

<第2回> 2022年2月6日（日）（全体会・分散会の2部構成にてWEB開催）

【全体会】報告事項（詳細は本協会HP参照）

- 1) 子ども家庭福祉分野におけるソーシャルワーク専門職の資格に関する件
- 2) 「こころの健康相談統一ダイヤル」相談体制支援事業に関する件
- 3) 第57回全国大会・第21回学術集会の準備状況に関する件
- 4) 委員会・分野別プロジェクトからの報告事項（配布資料のみ）

【分散会】協議事項（意見聴取・意見交換を含む）

- 1) 「精神保健医療福祉の将来ビジョン」を踏まえた2022年度以降の中長期計画に関する件
- 2) 2022年度事業計画及び収支予算に関する件
- 3) 生涯研修制度の見直しにおける新たな更新研修に関する件
- 4) ブロック内の都道府県精神保健福祉士協会等の活動報告等

【報告事項2】 2022年度活動予定

- 1) 日本精神保健福祉士協会静岡県支部 定時社員総会の開催

日 程：2022年5月29日（日）

場 所：グランシップ（静岡市）

内 容：2021年度活動報告及び会議等報告、2022年度活動計画、その他報告事項

2 研修会 学会への参加、協力

- 1) 第57回公益社団法人日本精神保健福祉士協会全国大会（群馬大会）、第21回日本精神保健福祉士学会学術集会への参加

日時：2022年9月2日（金）～3日（土） *9月2日（金）午前にプレ企画を開催

場所：Gメッセ群馬（群馬コンベンションセンター）（群馬県高崎市）

- 2) 認定SVR養成研修

日程、参加者等未定 養成者の派遣

- 3) 基幹研修 I（県初任者研修会と合同開催）

日程：2022年7月23日（土） 場所：静岡市（状況により全面WEB開催の可能性あり）

内容：講義等

3 意見集約と情報提供の仕組みづくり

代議員に意見が集約されない課題や日本協会からの情報提供を支部構成員へできていない課題に対し、静岡県精神保健福祉士協会と一緒に意見集約と情報提供の仕組みづくりについて引き続き検討、実行する。

4 日本精神保健福祉士協会事業への運営協力

- 1) 日本精神保健福祉士協会理事会・支部長会議・ブロック会議等への出席予定

会議	参加予定者	日程
定時総会	代議員：山口雅弘 望月信吾 理 事：水野拓二（※2）	2022年6月19日（※）
通常理事会		第1回 2022年7月23日（※） 第2回 2022年11月12日（※） 第3回 2023年3月11日（※）
理事による会合	水野拓二（※2）	2022年4月11日～12日（※）、5月21日～22日（※）、 7月24日（※）、9月24日～25日（※）、10月22日～ 23日（※）、11月13日（※）、12月17日～18日（※）、 2023年1月21日～22日（※）、2月18日～19日（※）
正副会長会	水野拓二（※2）	理事会及び理事の会合に合わせて開催（※）
都道府県支部長・ 事務局長会議	水野拓二（※2） 菅原小夜子 山口雅弘	2022年4月24日（※）
委員長会議		第1回 2022年7月24日（※） 第2回 2023年1月22日（※）
ブロック会議	菅原小夜子、山口雅弘 望月信吾	第1回 2022年9月25日（※） 第2回 2023年2月19日（※）

（※）対面とWEB会議システムを併用あるいはWEB会議システムのみで開催する。

（※2）第10回定時総会成立まで

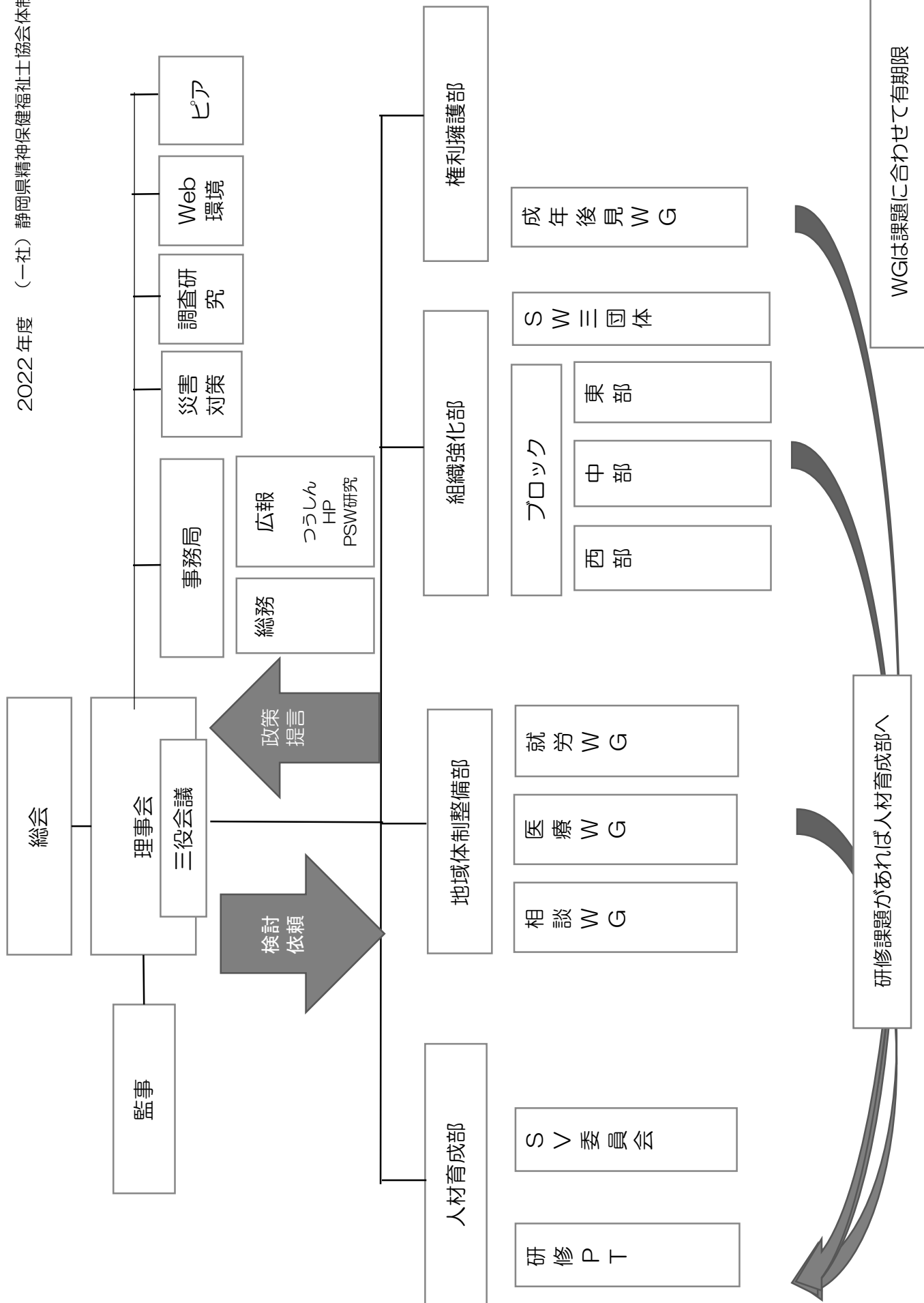
2) 2022年度 委員等の派遣

各委員会活動には本協会からの要請により適宜派遣予定

(資料)

2022 年度役員名簿

会長		菅原小夜子	特定非営利活動法人こころ
副会長		澤野 文彦	沼津中央病院
		前林 勝弥	静岡市保健所
		川嶋 章記	だんだん
事務局長		山口 雅弘	鷹岡病院
理事	東部	鈴木 伸二	サポートセンターいとう
		水野 拓二	鷹岡病院
		久保田絵美子	富士宮市
	中部	中村 倫也	静岡県立こころの医療センター
		望月 信吾	溝口病院
		安達万里子	特定非営利活動法人こころ
	西部	海野洋一郎	社会福祉法人みどりの樹
		増田 喜信	西部健康福祉センター
	監事		三谷美貴子
		藤田 尚	菊川市立総合病院



研修課題があれば人材育成部へ

WGは課題に合わせて有期限

